

【第3号議案(報告事項)】

平成25年度事業計画書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

一般社団法人への移行後の3年目として、前年度に引続き、当会の使命に相応しい体制の確立を図る。すなわち、前年度までに一部残った規程類の改定・整備を進めるとともに、健全な財政基盤の確立に向けて、前期から実施中の維持会員増強を図る。その具体策として、中小企業のニーズ把握のために実施したアンケート結果に基づき、講習会等のイベント事業開催を企画・実施する。

[1]研究会、学術講演会等の開催(定款第4条第1号)

1. 春秋大会の開催

1) 第124回春期大会

会期	:平成25年5月18日(土)、19日(日)
会場	:富山大学
実行委員長	:松田健二(富山大学)
定時総会	:平成25年5月18日(土)
研究発表講演	:平成25年5月18日(土)、19日(日)
表彰式	:平成25年5月18日(土)
会員懇親会	:平成25年5月18日(土)(ホテルグランテラス富山)
見学会	:平成25年5月17日(金)
機器・カタログ展示	:平成25年5月18日(土)、19日(日)

2) 第125回秋期大会

会期	:平成25年11月9日(土)、10日(日)
会場	:横浜国立大学
実行委員長	:福富洋志(横浜国立大学)
研究発表講演	:平成25年11月9日(土)、10日(日)
表彰式	:平成25年11月9日(土)
会員懇親会	:平成25年11月9日(土)(れんが亭)
機器・カタログ展示	:平成25年11月9日(土)、10日(日)

2. シンポジウム、セミナー等の開催

- ・軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」(平成25年9月、1泊2日)
- ・第91回シンポジウム「次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術の開発トレンド」(平成25年6月7日)
- ・第92回シンポジウム「最新の解析技術とその適用事例(仮題)」(開催日程未定)
- ・中小企業向け講習会(年度内を目標 企画委員会で企画、支部単位で実施)
- ・新規セミナー「状態図と組織 初級編」(年度内実施を目標)

[2]国内外における研究協力・連携の推進(定款第4条第2号)

1. 国際交流

1) ALMA(Asian Light Metals Association)

旧 ICP(International Communication Program)を、昨年日本で開催した ICP ミーティングで、ALMA(Asian Light Metals Association)と改称した。

①ALMA meeting と ALMA Forum

次回2014年東京地区で軽金属学会秋期講演会の前日に開催予定のALMA meeting とALMA Forum の準備を進める。

②ALMA ホームページの充実

昨年10月に開設した英文ホームページの充実を図る。

2) ICAA や ACAA への対応

ICAA 国際委員との連携のもと、適切に対応する。

2. 産学官の連携

参与会を年2回程度開催し、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、特にユーザー側からの助言を得る。

3. 他学協会との連携

日本学術会議、材料連合協議会、材料戦略委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鑄造工学会、日本塑性加工学会、日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本機械学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛などの協力を積極的に行う。

[3]学会誌、学術図書等の刊行(定款第4条第3号)

1. 会誌「軽金属」の刊行

本年度はVol.63-No.4~12、Vol.64-No.1-3までの12冊を刊行する。Vol.63-No.11に「材料組織における不均質性の制御と高機能軽金属材料の創製」特集号を、また、共同刊行欧文誌 Materials Transactions の Vol.54,No.9 に「Advanced Materials Science in Bulk Nanostructured Metals II (バルクナノメタルに潜む新たな材料科学 II)」特集号を刊行する。

2. 研究部会報告書の刊行

前年度までに研究を終了した研究部会、または当年度で活動を終了する研究部会の成果報告書を刊行する。

[4]研究及び調査の実施(定款第4条第4号)

1. 研究部会

本年度は前年度から継続の8部会で研究事業を実施するとともに、1件の新規部会立ち上げを行う。

さらに、特に学側からの新規部会提案を検討する。

	研究部会名	課題
1	高機能押出加工技術研究部会	押出型材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と、時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成を行なう
2	アルミニウム圧延における生産性研究部会	アルミニウム板圧延の、特に生産性の向上について、意見交換・検討を行いながら、技術レベルの向上を図る。
3	新機能発現・化学プロセス部会	化学反応に関わるプロセスを取りあげ議論する。表面処理、腐食、精錬、リサイクル等の30年後を見据えた情報交換の場とする。
4	成形性評価シミュレーションに関する基盤技術開発部会	自動車部品等にアルミニウム合金を適用するためには成形加工技術の高度化が必要であり、成形性評価シミュレーションの基盤技術の確立のため、アルミニウム合金の成形性評価に必要な基礎データの整備と充実を図る。
5	アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会	アルミニウムの材料特性は合金成分と製造条件に左右される。昨今、材料組織形成シミュレーションを用いた特性予測が進展しており、材料データプラットフォームの構築で、我が国独自の組織形成予測技術を実現させる。
6	アルミニウム中の水素研究部会	アルミニウム合金中の水素は、材料の機械的特性や表面品質に影響を及ぼすため、基礎的に水素ガス分析方法の高精度化と、機械的性質等に及ぼす水素ガス量の影響調査を行う。
7	アルミニウム溶解炉における複合酸化物の異常生成研究部会	アルミニウム溶解炉・保持炉に異常生成する複合酸化物(通称オバケ)を実機炉から採取・分析調査し、その生成機構解明を図るとともに、抑制に有効な知見(耐火物組成・構造や操業条件等)修得の一助とする。
8	加工と熱処理による優先方位制御研究部会	加工と熱処理による新しい集合組織制御技術の構築を目指して、実現可能な優先方位の組合せによる大幅な特性改善の可能性を見出す。
9	ミュオンスピン緩和スペクトル法の工業的応用研究部会	ミュオンスピン緩和法を応用展開して6000系アルミ合金を中心にAl合金中での原子空孔および水素の挙動を解明し、原子空孔及び水素挙動の検出装置としての顕在化を行う。

2. 大型研究のプロジェクト化

数年以内に実施できる公的な予算による大型プロジェクトを念頭に、軽金属学会で活動する研究者・技術者から研究計画を提案してもらい、提案された計画が実現可能かを研究委員会で議論を重ね、数件以内に絞ったうえ、研究組織を具体化させてプロジェクト化を図る。

[5]研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第4条第5号)

1. 研究・業績の表彰

①第16回軽金属学会賞、②第15回軽金属学会功労賞、③第11回軽金属功績賞、④平成25年度軽金属論文賞、⑤平成25年度軽金属論文新人賞、⑥第48回小山田記念賞、⑦第36回高橋記念賞、⑧第31回軽金属奨励賞、⑨第12回軽金属躍進賞、⑩第5回軽金属女性未来賞、⑪平成25年度軽金属希望の星賞の選考および表彰を行う。表彰式は、①~③を第124回春期大会の平成25年5月18日(土)、④~⑩を第125回秋期大会の平成25年11月9日(土)に行う。⑪については、平成26年2月末までに表彰楯を各大学へ送付し、卒業式・修了式など相応しい時期に表彰する。また、春秋大会において、それぞれ優秀ポスター発表賞の表彰を行う。

[6]その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第6号)

1. 人材育成

各支部において、講演会・ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施する。

2. 若手の会、女性会員の会

春秋大会時に、若手の会、女性会員の会を開催する。なお、昨年度より本格実施を始めた春秋大会時の託児室の設置を、今年度も引き続き女性会員の会を中心に実施する。

3. 支部活動

(1)北海道支部

1. 技術講演会(主催、協賛)(4回)「北海道アルミニウム利用技術研究会」と共同開催
 - ①アルミニウム製品製造の高度化技術に関する講演会(2回 北海道苫小牧市)
 - ②ものづくり技術交流会 生産現場における改善事例報告会(2回 北海道苫小牧市)
2. 支部講演大会 日本鑄造工学会北海道支部と合同開催
平成25年4月19日(金) 旭川市
3. 招待講演 1件(1.5hr程度) *講演者および内容は現在検討中
アルミニウム関連研究 全国の大学、高専、公設試などによる
4. 支部理事会、支部評議員会(1回)

(2)東北支部

1. 役員会(2回)
2. 主催講演会(2回)
3. 共催行事(3回)
4. 高橋記念賞推薦
5. 軽金属希望の星賞一次選考、推薦
6. 軽金属希望の星東北支部賞支部選考、表彰
7. 維持会員加入勧誘、訪問活動(継続)

(3)関東支部

1. 支部運営委員会(4回)
2. 支部若手育成支援事業:若手研究者講演発表会(若手育成研修会)
3. 若手・女性の会への活動補助事業
4. 第125回秋期大会講演会(於横浜国立大学)の実行援助
5. 工場見学
6. 高橋記念賞推薦
7. 軽金属功労賞推薦
8. 軽金属希望の星賞受賞候補者の一次選考
9. 維持会員加入勧誘、訪問活動(継続)

(4)北陸支部

1. 幹事会(定例2回)
2. 講演会(秋1回)
3. 幹事研修会(1回)
4. 第124回全国大会実行委員会(4月)
5. 第124回全国大会(5月)
6. 若手育成支援事業
7. 協賛事業 随時(5件程度)
 - 日本金属学会・日本鉄鋼協会北陸信越支部(7月、12月)
 - 日本・ノルウェーアルミニウム合金シンポジウム(6月、富山)
 - 富山大学材料科学国際シンポジウム(ICPMAT)(8月、中国・山東大学)
 - 富山大学材料研究会(10月、2月)
 - 無機膜研究会(10月)

(5)東海支部

1. 会議関係
 - (1) 総会(1回), 開催時期:平成25年4月18日
 - (2) 評議員会(1回), 開催時期:平成25年4月18日
 - (3) 理事会(3回), 開催時期:未定
2. 企画行事等
 - (1) 講演会(2回)
 - 第1回講演会:平成25年4月18日
 - 第2回講演会:平成25年12月~平成26年1月
 - (2) 若手研究者ポスター講演会:
平成25年9月~10月
 - (3) TECH Biz2013:支部活動展示 平成25年12月頃
3. 研究部会(航空機材料部会, プレス加工部会):開催未定
4. 若手の会:軽進会 開催時期:未定
5. 女性の会:東海支部女性の会 開催時期:未定
6. 支部協賛事業:詳細未定

(6) 関西支部

1. 支部理事会 2回
2. 支部幹事会 2回
3. 高橋記念賞推薦
4. 軽金属功労賞推薦
5. 軽金属希望の星賞推薦
6. 研究会等
 - 6-1 研究会
 - (1) 関西軽金属サマースクール
 - (2) 軽金属関西支部シンポジウム
 - (3) 関西支部 若手研究者院生による研究発表会
 - 6-2 出前講座(地域産業における軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)
 - 6-3 大学院生フィールドワーク助成プログラム
 - 6-4 その他共催企画等
7. 維持会員の増強

(7) 中国四国支部

1. 第5回支部講演大会の開催(於 香川大学)
2. 研究会の開催(2回):中国地区で1回、四国地区で1回開催
3. 若手フォーラムの開催(1回)
4. 支部役員会の開催(1回)
5. 支部各賞の授与(奨励賞、優秀講演賞、研究・開発奨励賞)

(8) 九州支部

1. 日本金属学会・日本鉄鋼協会・軽金属学会九州支部合同学術講演会共催
平成25年6月8日、於熊本大学
2. 九州支部 第89回役員会
平成25年7月、於 不二ライトメタル株式会社
3. 九州支部 第89回例会
平成25年7月、於 不二ライトメタル株式会社
4. 九州支部 第90回役員会
平成26年2月、於 熊本大学
5. 九州支部 第90回例会
平成26年2月、於 熊本大学
6. 協賛事業(随時)

以上